特集2

51年目の進化

～楽しく学べる体験型動物園を目指して～

飼育展示担当（獣医師）　副参事　小川　裕子
企画広報担当　主席主査　金　大咲

開園51年目のシーズンに新たに掲げたテーマ「楽しく学べる体験型動物園」を体現すべく、スタッフ一同知恵を絞ってさまざまな企画を展開してきました。ここでは、文字通り「楽しむこと」と「学ぶ」ことの両立を目指した2つの企画について紹介します。

1 日々の動物イベントをグレードアップ！

～「大森山ZOOビンゴ」「めざせ！！アニマルマスター☆」など新たな企画も登場～

日々のまんまタイムや動物解説で動物の羽根や歯、骨などに直接触れてさまざまな角度から観察してもらい、参加して良かったと満足してもらえるイベントを企画しました。キリンの頭骨を使った角の話やインドクジャクやニジキジの羽根を触ってもらい好評を得ることができました。

そのほか、「大森山ZOOビンゴ」や「めざせ！！アニマルマスター☆」を企画しました。どちらも、耳や鼻、足など、動物ごとの体のパーツの違いにはどんな理由なのかをより詳しく来園者の方に伝えたいという飼育員達の思いを形にしたものです。今後は、校外学習で来園される小学生に利用してもらえるよう周知していきたいです。

大森山ZOOビンゴ

「大森山ZOOビンゴ」は、動物の鳴き声を聞いたりエサを食べる様子を見たりするごとに丸をつけ、ビンゴを目指すものです。

めざせ！！アニマルマスター☆

「アニマルマスター」は、体の一部を隠した動物のイラストを実際に観察しながらスケッチして、体の特徴などを学ぶものです。

さよなら感謝祭では飼育員の解説付きでビンゴツアーも行いました

2 謎解きクエスト「銀河のカケラを探し出せ！」

ゆうえんちアニパを経営する豊永産業株式会社との初のコラボイベントを、10月6日から11月4日までの30日間開催しました。

入園ゲートから「謎解きクエスト」がスタートし、「小熊猫って何の動物だろう？」「竿燈をあげられる人気動物って？」など、動物園とゆうえんちアニパに隠された6つの謎を解きながら第1ステージをクリアし、最終第2ステージは「観覧車に乗って『ある物』を探せ！」という、わくわくするミッションでした。期間中、1,800人を越えるお客さまがチャレンジし「楽しかった！けどちょっと難しい！？」という声が多く寄せられました。

2025シーズンも、練りに練った難問クエスト（！？）を準備したいと、スタッフも楽しみながら考えております。

入園ゲートから始まる謎解きクエスト

園内に隠された「お星さま」を探し出せ！

第2ステージをクリアすると素敵な景品をプレゼント